令和7年度 学校自己評価システムシート (さいたま市立 南浦和 小学校)

学校教育目標 よく学ぶ子 心豊かな子 たくましい子

目指す学校像

学校番号 009

【様式】

達	Α	ほぼ達成	(8割以上)
成	В	概ね達成	(6割以上)
度	U	変化の兆し	(4割以上)
	D	不十分	(4割未満)

1 学習者一人ひとりが主体となる授業づくり
2 児童一人ひとりに寄り添った教育支援をするための共通理解・共通行動の実施
重 点 目 標 3 地域に愛される「南小」の歴史をつなぐコミュニティ・スクールの実施
4 安心安全な学校であり続けるための教育環境の整備
5 教職員一人ひとりのよさを発揮できる職場づくりと働き方改革の推進

みんなの笑顔が輝く学校「ス(進んで学ぶ等)マ(まっすぐな心等)イ(一生懸命等)ル(ルールを守る等)みなみ」

※重点目標は5つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、 方策の評価指標」を設定。

理状と課題	る「学びのポイン ト(じ・セ・ク)」の授業づくり 児童一人ひとり育本 展・教育相談体制	学 校 目 標	方策の評価指標 ①カリマネデザインマップを修正(教科横断的な学びの視点、時数の見直し等)し、児童が学び方を選択することができる授業を行うとともに、次年度の教育課程を作成することができたか。 ②学校評価「学習指導」「授業が分かりやすい」の項目を9割以上とすることができたか。 ③「学びの指標アンケート」及び学校独自アンケートにおいて1回目自校平均よりも向上することができたか。 ④指導訪問、要請訪問、校内授業研究会において、授業改善の視点や手立てを設定した授業を実践することができたか。	評 価 年 評価項目の達成状況	度評価	次年度への課題と改善策	学校運営協議会による評価 実施日令和 年 月 日 学校運営協議会からの意見・要望・評価等
 現状と課題 <現状> ○昨年度の全国学力・学習状況調査や市の学習状況調査では、国語、算数ともに全国、市平均と比べ概ね良好な結果である。 ○協働的な学びについては、各学年で工夫した授業を行うことができている。 〈課題> ○昨年度の全国学力・学習状況調査の結果分析から、国語の思考力・判断力・表現力等の「話すこと・聞くこと」について、算数は「変化と関係」についての問題に課題がある。 ○高学年になるにつれて習熟度の二極化が見られる教科(算数)がある。 ○高学年になるにつれて習熟度の二極化が見られる教科(算数)がある。 ○現状> ○「心と生活のアンケート」において信頼自己がDE評価の児童が19%いる。 ○毎朝入力をしているおはようメーターの「おはよう気持ち」「おはよう体調」について「悪い」「とても悪い」を毎日選択する児童が一定数いる。 	評価項目 個別最適な学習の 実施 学習者が主体とインとイント(じの授業がのした教育体ののとのです。) の授業がののとなっている。 とイン・クのでは、とのできる。 とのでも。 と。 とのできる。 とのできる。 とのできる。 とのできる。 とのできる。 とのできる。 とのできる。 とのできる。 とのできる。 とのでき。 とのでも。 とのでも。 とのでも。 とのでも。 とのでも。 とのでも。 とのでも。 とのでも。 とのでも。 とので。 とのでも。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。	具体的方策 ①各学年において「カリマネデザインマップ」見直しの時間を設定し、児童が学び方を選択することができる授業を行う。 ②毎週金曜日に「基礎学力パワーアップタイム」を実施し、スタディサプリ、ドリルパーク等を活用することを通して、児童が学習履歴を確認し、学習計画を設定する等主体的な学習をする。 ③「学びの指標アンケート」及び学校独自アンケートを5月、12月に実施し、1回目の結果考察、全国学力学習状況調査の振り返りを行う。 ④学校課題研修において、「学びのポイント(じ・し・や・ク)」を意識した授業づくりを実践する。 ①おはようメーターの集計を毎日確認し、	①カリマネデザインマップを修正(教科横断的な学びの視点、時数の見直し等)し、児童が学び方を選択することができる授業を行うとともに、次年度の教育課程を作成することができたか。 ②学校評価「学習指導」「授業が分かりやすい」の項目を9割以上とすることができたか。 ③「学びの指標アンケート」及び学校独自アンケートにおいて1回目自校平均よりも向上することができたか。 ④指導訪問、要請訪問、校内授業研究会において、授業改善の視点や手立てを設定した授業を実践することができたか。	ı	× 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11		
 <現状> ○昨年度の全国学力・学習状況調査や市の学習状況調査では、国語、算数ともに全国、市平均と比べ概ね良好な結果である。 ○協働的な学びについては、各学年で工夫した授業を行うことができている。 <課題> ○昨年度の全国学力・学習状況調査の結果分析から、国語の思考力・判断力・表現力等の「話すこと・聞くこと」について、算数は「変化と関係」についての問題に課題がある。 ○高学年になるにつれて習熟度の二極化が見られる教科(算数)がある。 <の場立がよりがある。 ○毎朝入力をしているおはようメーターの「おはよう気持ち」「おはよう体調」について「悪い」「とても悪い」を毎日選択する児童が一定数いる。 	個別最適な学習の 実施 学習者が主体とインとイント(じの授業づくし、)」の授業へのした教育体制 児童一人かの有相談・教育体制	①各学年において「カリマネデザインマップ」見直しの時間を設定し、児童が学び方を選択することができる授業を行う。 ②毎週金曜日に「基礎学力パワーアップタイム」を実施し、スタディサプリ、ドリルパーク等を活用することを通して、児童が学習履歴を確認し、学習計画を設定する等主体的な学習をする。 ③「学びの指標アンケート」及び学校独自アンケートを5月、12月に実施し、1回目の結果考察、全国学力学習状況調査の振り返りを行う。 ④学校課題研修において、「学びのポイント(じ・し・や・ク)」を意識した授業づくりを実践する。 ①おはようメーターの集計を毎日確認し、	①カリマネデザインマップを修正(教科横断的な学びの視点、時数の見直し等)し、児童が学び方を選択することができる授業を行うとともに、次年度の教育課程を作成することができたか。 ②学校評価「学習指導」「授業が分かりやすい」の項目を9割以上とすることができたか。 ③「学びの指標アンケート」及び学校独自アンケートにおいて1回目自校平均よりも向上することができたか。 ④指導訪問、要請訪問、校内授業研究会において、授業改善の視点や手立てを設定した授業を実践することができたか。	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校運営協議会からの意見・要望・評価等
 ○昨年度の全国学力・学習状況調査や市の学習状況調査では、国語、算数ともに全国、市平均と比べ概ね良好な結果である。 ○協働的な学びについては、各学年で工夫した授業を行うことができている。 <課題> ○昨年度の全国学力・学習状況調査の結果分析から、国語の思考力・判断力・表現力等の「話すこと・聞くこと」について、算数は「変化と関係」についての問題に課題がある。 ○高学年になるにつれて習熟度の二極化が見られる教科(算数)がある。 ○現状> ○「心と生活のアンケート」において信頼自己がDE評価の児童が19%いる。 ○毎朝入力をしているおはようメーターの「おはよう気持ち」「おはよう体調」について「悪い」「とても悪い」を毎日選択する児童が一定数いる。 	実施 学習者がもなる「体イン・くり」の授業のした業 のした教育体制	プ」見直しの時間を設定し、児童が学び方を選択することができる授業を行う。 ②毎週金曜日に「基礎学力パワーアップタイム」を実施し、スタディサプリ、ドリルパーク等を活用することを通して、児童が学習履歴を確認し、学習計画を設定する等主体的な学習をする。 ③「学びの指標アンケート」及び学校独自アンケートを5月、12月に実施し、1回目の結果考察、全国学力学習状況調査の振り返りを行う。 ④学校課題研修において、「学びのポイント(じ・し・や・ク)」を意識した授業づくりを実践する。 ①おはようメーターの集計を毎日確認し、	的な学びの視点、時数の見直し等)し、児童が学び方を選択することができる授業を行うとともに、次年度の教育課程を作成することができたか。 ②学校評価「学習指導」「授業が分かりやすい」の項目を9割以上とすることができたか。 ③「学びの指標アンケート」及び学校独自アンケートにおいて1回目自校平均よりも向上することができたか。 ④指導訪問、要請訪問、校内授業研究会において、授業改善の視点や手立てを設定した授業を実践することができたか。				
		ても悪い」を選択した児童の見守り、声掛けを行う。 ②児童向けの「心と生活のアンケート面談」 と「スマイル月間(本校独自の個人面談) を学期に1回ずつ実施したり、保護者向け	「学校に行くのを楽しみにしている」「友達と仲よくしている」の項目で、児童の肯定的な評価が9割を超えたか。 ②学校自己評価に係るアンケートにおける「生徒指導」「教育相談」「組織運営」の項目で、肯定的な評価が保護者・教職員と				
○「その日のことはその日のうちに」を合言葉に全教職 員が共通理解のもとで「報告・連絡・相談・確認・見 届け」を丁寧、迅速に行う必要がある。	積極的な生徒指導 を実現するための 共通理解・共通行 動の実施 地域・家庭と連携	の教育相談日を毎月設定したりし、児童が安心して生活できるようにする。 ③ 「心のサポート週報」による情報の共有や蓄積など、気になる児童の情報を共有する。 ④生徒指導対応をする際は、複数で聴き取りを行う、保護者と連携する、記録をとる等の共通行動をする。 ①あいさつチャレンジデーを複数回実施す	もに 9割を超えたか。 ③気になる児童について、「その日のうちに」情報を共有し、面談、保護者への連絡等ができたか。 ①学校運営協議会において、本校の課題につ				
 ○昨年度150周年事業を終え、地域に愛される学校であることを児童・教職員ともに実感することができている。 ○学校運営協議会において目指す児童の姿「チャレンジする心」を家庭、地域などに広めることができた。 ○昨年度の学校評価に係るアンケート「情報発信」「地域・保護者の願いに応えている」の項目で肯定的な評価が9割に届かなかった(89%)。 	したいつでもどこ でもあいさつでも る学校づくり 「スマイルみな み」を地域全体で 共有するた新の	る。 ②児童が主体的にあいさつキャンペーン等を参画し、実施する。 ③各学年が実施する特別講師による授業(薬物乱用防止教室等)を積極的に公開する。	いて熟議を行い、「あいさつチャレンジデー」が実施できたか。 ②児童会主催のあいさつキャンペーンを実施することができたか。 ③各学年が実施する特別授業やお話会等の公開可能な授業について学校だより、学年だよりで周知し、公開をすることができたか。				
○校内ではあいさつができるが、登下校中は自分からあいさつをすることができない児童が多い。○授業公開等を行い、特色ある教育活動についてさらに発信する必要がある。			び、各学年各月1回以上のブログ更新を通 して、児童の様子や学校の出来事等を保護 者や地域の方に迅速に情報提供することが できたか。				
<現状>○校舎、各教室の空調設備等については、経年劣化はしているが、毎月の安全点検等を行い、不具合があった場合は、その都度対応している。 <課題>○給食室に導入されているスチームコンベクションオーブンが一度も使用されていない。 ○屋上の防水、経年劣化による故障等が随所に見られ、その都度対応をしているが、根本的な修繕はできていない。	設の管理	施し、予算の適正執行を実現する。 ②安全点検を確実に行うとともに、修理箇所があった場合の即日対応に努め、事故を未然に防ぐようにする。 ③給食室内の安全点検を毎日行い、故障があった場合は即日対応して、給食提供に支障がないように努める。 ④スチームコンベクションオーブンを使用し	施し、適正な執行を実現することができたか。 ②安全点検を毎月実施するとともに、修理箇所があった場合の即日対応、職員集会等で周知し、危機意識を向上させられたか。 ③栄養技師、事務職員と確認を行い、給食室内の設備等に故障があった場合に即日対応をすることができたか。 ④スチームコンベクションオーブンを使用し				
<現状>○5、6年生における教科担任制、3、4年生の一部教科担任制、1,2年生の交換授業により、担当教科の専門性の高い教材研究を行うことができている。○時間外在校等時間に個人差がある。○教職経験年数の浅い教職員が増えている。< <課題>○全教職員が人事評価に基づき、自身の設定した目標、	キャリアに応じた	 ①学年ごとに月2回以上のノー残業デーを設定するとともに、19時以降は学校に残って仕事をしないようにする。 ②一人で業務を抱えこまないよう、集中しないよう、主任がリーダーシップをとり、業務分担を図る。 ③校内における各種研修、年次研修に加えて、教職員それぞれの強みを生かした教 	①学年ごとに月2回以上のノー残業デーを設定し、見える化、声掛けを実施し、教職員の時間外在校等時間を月45時間以内とすることができたか。 ②学校評価(教職員用)「働き方改革」の項目でAB評価が9割以上の肯定的な回答が得られたか。 ③自身の設定した目標に向けて指導力向上に向けた研修を実施、研修会等に参加することが				
	 ○昨年度150周年事業を終え、地域に愛される学校であることを児童・教職員ともに実感することができている。 ○学校運営協議会において目指す児童の姿「チャレンジする心」を家庭、地域などに広めることができた。 ○昨年度の学校評価に係るアンケート「情報発信」「地域・保護者の願いに応えている」の項目で肯定的な評価が9割に届かなかった(89%)。 ○機関> ○校内ではあいさつができるが、登下校中は自分からあいさつをすることができない児童が多い。 ○授業公開等を行い、特色ある教育活動についてさらに発信する必要がある。 <現状> ○校舎、各教室の空調設備等については、経年劣化はしているが、毎月の安全点検等を行い、不具合があった場合は、その都度対応している。 <課題> ○給食室に導入されているスチームコンベクションオーブンが一度も使用されていない。 ○屋上の防水、経年劣化による故障等が随所に見られ、その都度対応をしているが、根本的な修繕はできていない。 <見上の防水、経年劣化による故障等が随所に見られ、その都度対応をしているが、根本的な修繕はできていない。 <見井の店、数料担任制、3、4年生の一部教科担任制、1、2年生の交換授業により、担当教科の専門性の高い教材研究を行うことができている。 ○時間外在校等時間に個人差がある。 ○教職経験年数の浅い教職員が増えている。 ○課題> ○全教職員が人事評価に基づき、自身の設定した目標、 	 ○昨年度150周年事業を終え、地域に愛される学校であることを児童・教職員ともに実感することができている。 ○学校運営協議会において目指す児童の姿「チャレンジする心」を家庭、地域などに広めることができた。 ○昨年度の学校評価に係るアンケート「情報発信」「地域・保護者の願いに応えている」の項目で肯定的な評価が9割に届かなかった(89%)。 〈課題〉 ○校内ではあいさつができるが、登下校中は自分からあいさつをすることができない児童が多い。 ○授業公開等を行い、特色ある教育活動についてさらに発信する必要がある。 〈現状〉 ○校舎、各教室の空調設備等については、経年劣化はしているが、毎月の安全点検等を行い、不具合があった場合は、その都度対応している。 〈課題〉 ○給食室に導入されているスチームコンベクションオーブンが一度も使用されていない。 ○屋上の防水、経年劣化による故障等が随所に見られ、その都度対応をしているが、根本的な修繕はできていない。 〈現状〉 ○5、6年生における教科担任制、3、4年生の一部教科担任制、1、2年生の交換授業により、担当教科の専門性の高い教材研究を行うことができている。 ○時間外在校等時間に倒人差がある。 ◆教職経験年数の浅い教職員が増えている。 ○教職経験年数の浅い教職員が増えている。 ○教職経験年数の浅い教職員が増えている。 ○全教職員が人事評価に基づき、自身の設定した目標、指導力向上に向けた研修、キャリアに応じた研修を実 帯修の推進 	○昨年度150周年事業を終え、地域に愛される学校であることを児童・教職員ともに実感することができている。 ○学校運営協議会において目指す児童の姿「チャレンジする心」を家庭、地域などに広めることができた。 ○昨年度の学校評価に係るアンケート「情報発信」「地域・保護者の願いに応えている」の項目で肯定的な評価が9割に届かなかった(89%)。 〈課題〉 ○校内ではあいさつができるが、登下校中は自分からあいさつをすることができない児童が多い。 ○授大会、各教室の空調設備等については、経年劣化はしているが、毎月の安全点検等を行い、不具合があった場合は、その都度対応している。 〈課題〉 ○検査、各教室の空調設備等については、経年劣化はしているが、毎月の安全点検等を行い、不具合があった場合は、その都度対応している。 〈課題〉 ○検査を使用されていない。 ○農金に導入されているスチームコンベクションオープンが一度も使用されていない。 ○昼上の防水、経年劣化による故障等が随所に見られ、その都度対応をしているが、根本的な修繕はできていないない。 ○国上の防水、経年劣化による故障等が随所に見られ、その都度対応をしているが、根本的な修繕はできていないない。 ○国生の防水、経年劣化による故障等が随所に見られ、その都度対応しているが、根本的な修繕はできていないない。 ○大会を登里と給食の提供で変いる。 ②安全な学校施設の管理を対しているの手術を発生があった場合の即日対応に努め、事故を未然に防ぐようにする。 ②安全な管理と給食の提生と給食を選集に行うとともに、修理箇所があった場合は即日対応して、給食提供に支障がないように努める。 ③子十ムコンベクションオープンを使用した給食を提供する。 ②学年ごとに月2回以上のノー残業デーを設定管理と働き方改革の進化。 本で変した目標、を必要とした目標、本で推進 ・ 本・リアに応じた研修を実 研修の推進 ・ オ・リアに応じた研修を実 研修の推進 ・ オ・リアに応じた 教職員が申えていの強みを生かした教験員で内における各種研修、年次研修に加えて、教職員それぞれの強みを生かした教	□ 一	の字形型では、整個員とは影響では、影響できたとができている。 の子校園で観線会において目指す児童の姿 ドキレンジ するか」を実施、地域などに以めることができた。 の中年皮の学院側に係のアンケート (情報保用 地 機・保護者の確いになえている」の項目で肯定的な評 機が多別に高かなかった(89%)。 《題題> ○校内ではわいきつができるが、巻下校中は自分からかいさつをできている。 の経業公開やを行い、特色ある教育活動についてさらに 発信する必要がある。 ②学校学の変調設備等については、経年年化はしているが、集月の安全な経を行い、特色あるから、 会様は、その都度がはしている。 「発展) ○経金の関係を使用されていたしている。 会種は、その都度がはしている。 の場上の関係と使用されていたい。 の最上の防水、経年年化による放電等が随所に見られ、その都度がはしているが、根本的な整確はできていない。 会の関係と使用されているが、サステームコンペラションオープンが一個と使用とれていたが、 をの選集を得い、本との表検技術により、担当教科の の見上の防水、経年年化による放電等が随所に見られ、その都度がはしているが、根本的な整確はできていない。 会の関係と使用を打ていたい。 会別は、その都度がはしているが、根本的な整確はできていない。 の最上の防水、経年年化による放電等が随所に見られ、その都度がはしているが、根本的な整確はできていない。 の見上の防水、経年年化による放電等が随所に見られ、その都度がはしているが、機工年化による放電等が随所によびまいたの。 会社の教育と使用を対すていた。 を変となどを変となどので達成を実施する。 のな変とな後を実施まに行うときれに、修理の があった場合は即目対定、験者、野の後を対している。 の次チームコンペクションオーブンを使用したがたいまのに対している。 の次チームコンペクションオーブンを使用した。 を発を使用できたか。 の学年ごとに月2回以上のノー残業テーを設 がないまらに対る。 の学年でとしたいようにする。 の場性経験体験を対している。 の学者としたいようにする。 の学性としたいようにする。 の時間外を住物等時間を見入来がある。 の時間性心の教材研究を行うととができている。 の時間性心の教材研究を行うととができている。 の時間性心の教材研究を行うととができている。 の時間性心の教材研究を行うととができている。 の時間性心の教材研究を行うととができている。 の時間性心の教材研究を行うととができている。 の時間性心の教材研究を行うととができている。 の時間外を住物等時間を対している。 の時間外を住物等時間を対している。 の時間外を住物等時間を対しまでいる。 の時間外を住物等時間を対している。 者を提供してきたが、その時間外を変といるといようにする。 ので学校としたいようにする。 でするととしたいまうにする。 の場所を全事時間に利しまできたが、をかの時間外を住め等時間を対しま時間以内とする では、といまり、主である。 の時間外を住め等時間を対している。 の時間外を住め等時間を対している。 を対したいまうにする。 の時間外を住め等時間を対している。 の時間外を住め等時間を対している。 の時間外を経験等間を対している。 を対しているが表と、からまのできたが、をからまのの時間を対している。 でするとしたいまうに表が、をできたい。 の時間外をと変し、の時間外を使いため、 を対しているがきたいできたが、 の時間外をとない、するを対している。 の時間外をと変し、一般に関係とない。 でするといったが、 がは、対しているとないまり、生が、 がなり、といるは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	□ の	□ の手を乗しまる。日本学者を含え、地域に乗される学校でした。 あることを収集を指することができた。 「おいってもどく 「なる味・教養良としては発生のようとうできた。 「なったのできた。」 「なったのできたが、これできた。」 「なったのできたいできた。」 「なったのできたいできたいできた。」 「なったのできたいできたいできたいできた。」 「なったのできたいできたいできた。」 「なったのできたいできたいできたいできた。」 「なったのできたいできたいできたいできた。」 「なったのできたいできたいできたいできたいできたいできたいできたいできたいできたいできたい